

家族7人福島から

原発20数キロで診察の医師

福島第一原発の事故を避け、16日から岡山市内に避難している福島県南相馬市の医師、常盤聡さん(44)が21日、国際医療NGO「AMDA(アマダ)」(岡山市)の会見に同席し、原発の「廃炉」を訴えた。

常盤さんは、AMDAの協力で、妻恵子さん(41)と子ども3人、福島県内に住む妻の両親の計7人で岡山に来た。

自宅と経営する診療所は、福島第一原発から20数キロの場所にある。津波の被害はなかったが、地震で診療器具の一部が壊れ、電話が通じず外部との連絡が一切とれなくなった。それでも「津波や地震で

負傷者がいるはず」と考え、12日朝から診療所を開け、数

十人の患者を診療した。ところが14日、原発で2度目の水素爆発があった。「もうこれ以上は危険」と判断し、その夜、妻の実家のある県内の別の市に避難した。30キロ圏内の住民に対する屋内待



福島県から避難してきた常盤聡さん(左)と恵子さん。福島第一原発から20数キロに診療所がある岡山市北区

感染症流行、薬不足、脱水症状…

AMDAが現状報告



被災地で撮影した写真を使いながら、説明する菅波茂医師＝岡山市北区

避の指示は、その直後のことだった。15日にAMDAの知人から岡山への避難を勧められ、従ったという。

岩手県にいた親族は無事だが、安否不明の友人や、津波で子どもを失った知人もいる。「岩手や宮城は復興に向

AMDA代表で医師の菅波茂さん(64)が21日、被災地での活動を報告した。現地では断水が続ぎ、衛生環境が悪化している。避難

所では、インフルエンザやノロウイルスなど感染症がはやっていて、糖尿病など慢性疾患の薬も足りていな

岡山

OKAYAMA

支援の輪 23日

募る

◆おかやま山陽高校 25日13時と15時、広島県福山市入船町の福山ポートプラザ1階で吹奏楽部がチャリティーコンサート。会場で募金する。

医療

◆AMDA 第11次5人を宮城県南三陸町に派遣。

物資

◆県、受付品目を限定 毛布、タオル、トイレットペーパーなど受け入れ休止。大人・乳児用紙おむつ▽生理用品▽マスク▽ぬれティッシュ、お尻ふきに限定。未使用、梱包(こんぼう)品に限る。

◆岡山市 市民から寄せられた離乳食や乾電池など救援物資の第1便(10トトラック)が仙台市へ。

その他

◆久米南町 公営のリゾートセンター 治部邸(20人、6カ月)、美しい森ビジターセンター(10人、3カ月)を無料貸し出し。被災者が原発事故の避難者。町総務企画課(0867・28・2111)。

広告のご用は
岡山(222) 6761
折り込みは
岡山(243) 9011